

韓国環境部プレスリリース 2020年2月14日付

京畿道と江原道の野生いのししから ASF ウイルス検出（野生いのしし 200-204 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do;jsessionid=vcRlkoxsWDMZtJVOkhr0AMsx.mehome1?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1316125&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョンゲン）上西面（サンソミョン）、京畿道（キョンギド）漣川郡（ヨンチョンゲン）百鶴面（ペッカミョン）で発見された野生いのしし死体 5 個体から ASF ウイルスが検出されたと 2 月 14 日明らかにした。

□国立環境科学院は 2 月 14 日死体から ASF ウイルスが検出されたことを関係機関に通知した。これで華川郡（ファチョンゲン）は 68 件、漣川郡（ヨンチョンゲン）では 64 件の野生いのしし ASF 陽性となり全国的には 204 件になった。

○ASF 標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に野生いのししの死体を処理した。

□国立環境科学院は今回確診なった個体は全て広域フェンスの中で発見され、最近感染個体が発見された地点と近接した距離で、他にも感染個体があるか確認するために徹底的に捜索していると明らかにした。

以上